

みずほCustomer Desk Report 2017/06/13 号(As of 2017/06/12)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.24 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.32	1.1201	123.58	0.9690	1.2742	0.7529
SYD-NY High	110.44	1.1232	123.73	0.9695	1.2769	0.7547
SYD-NY Low	109.64	1.1192	122.80	0.9671	1.2640	0.7522
NY 5:00 PM	109.95	1.1204	123.17	0.9686	1.2660	0.7542
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.835/8.235		△25RR	1.050	Yen Call Over	

NY DOW	21,235.67	▲ 36.30	債券市場	日本2年債	-0.1070	▲0.3bp
NASDAQ	6,175.47	▲ 32.45		日本10年債	0.0580	0.2bp
S&P	2,429.39	▲ 2.38		米国2年債	1.3551	2.0bp
日経平均	19,908.58	▲ 104.68		米国5年債	1.7780	1.2bp
TOPIX	1,591.55	▲ 0.11		米国10年債	2.2145	1.4bp
シカゴ日経先物	19,850.00	▲110.00		独10年債	0.2490	▲1.5bp
ロンドンFT	7,511.87	▲15.46		英10年債	0.9670	▲3.8bp
DAX	12,690.44	▲125.28		豪10年債	2.4010	-
ハンセン指数	25,708.04	▲ 322.25		為替市況	USD/CNH	6.7956 0.0087
上海総合	3,139.88	▲ 18.52		ドルインデックス	97.14	▲0.14
USDJPY 3M Vol	8.21	0.11%	商品市況	CRB指数	175.934	▲0.83
USDJPY 6M Vol	8.84	▲0.02%		NY金	1,268.90	▲2.50
EURJPY 3M Vol	8.52	▲0.10%		WTI	46.08	0.25
EURJPY 6M Vol	9.34	▲0.19%		Dubai Spot	47.09	1.10

東京	週末に実施された仏議会選挙において、マクロン大統領率いる「共和国前進」が577議席中400議席以上(過半数289議席)を獲得し、圧勝する見込みとの報道が伝わるも、注目度がさほど高くなかったからか市場への影響は限定的。かかる中、東京時間のドル円は110.32レベルでオープン。先週金曜日に米ナスダックが下落した動きを背景に日経平均株価が軟調に寄り付くと、ドル円は110.16まで下落する展開。しかし、特段新規材料のない中で110円台前半では底堅い推移となり、午後に入ってから110.25付近で揉み合い推移に終始した。結局、110.25レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は110円台前半から109円台後半まで下落。朝方は110.25レベルでオープン。ロンドン時間序盤に米長期金利が低下する場面ではドル円も110円ちょうど上付近まで下落。欧州株がオープンから軟調となる中で円買いの流れも相俟り、その後110円ちょうどを割り込んだ。ポンド円を筆頭にクロス円の弱さによる円買いの流れは続き、ドル円は109.88レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.27台後半から1.26台後半まで下落。朝方は1.2759レベルでオープン。序盤からポンド円を筆頭にポンドクロスが全般的に上値重く推移する中、ムーティーズより「英総選挙の結果はブレジントに対してネガティブであり、EU離脱交渉の不透明感を増した」との見解も重石となった。その後は目新しい材料やニュースがないもののポンドの弱さは続き、ポンドドルは1.2682レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルフリー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	海外時間は先週8日の英総選挙のメイ首相敗北の余韻が残る中、ポンド円が大幅に下落する展開に、ドル円も軟調推移となり109.88でNYオープン。朝方は軟調なアジア・欧州株式市場を受けて米株も寄り付き後からマケス圏での推移となったことでドル円は下落。その後もポンド円が続落したことや、米3年債の入札が強い結果となり米金利が低下したこと、ドル円は安値109.64まで下落。しかし14日にFOMCを控え様子見姿勢が強い中、米10年債の入札を無難にこなしたことで米金利が上昇に転じると、ドル円は109.85付近まで上昇。その後も米株が下げ幅を縮小したこと、ドル円は一段と上昇し、109.95レベルでクロスした。なお昼過ぎにウィルキンス・カナダ中銀上級副総裁の「景気回復が続くなら、現行の緩やかな金融政策が必要か評価する」との効派的な発言を受けてカナドルが高値1.3470から1.3325まで急落した。一方ユーロドルはユーロポンド上昇を横目に堅調に推移し、1.1219レベルでNYオープン。ユーロポンドの上昇が一服するとユーロドルは1.1192まで反落。その後は1.1200付近での狭いレンジでの推移が続き、1.1204レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山本・岡本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月12日	8:50	日	機械受注(前月比/前年比)	4月 -3.1%/2.7% 0.5%/7.3%

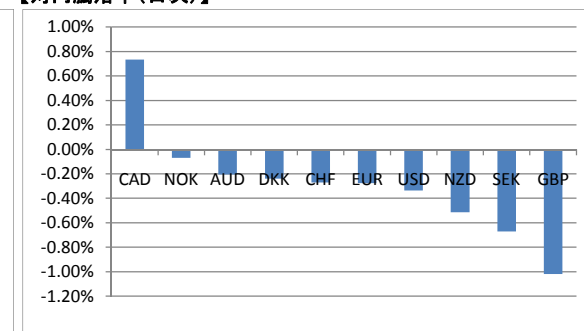
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月13日	17:30	英	CPI(前月比/前年比)	5月 0.2%/2.7% 0.5%/2.7%
	18:00	欧	ZEW調査(期待)	6月 - 35.1
	18:00	独	ZEW調査(現状/期待)	6月 85.0/21.7 83.9/20.6
	21:30	米	PPI(前月比/前年比)	5月 0.0%/2.3% 0.5%/2.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50-110.50	1.1150-1.1250	122.50-124.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円は、軟調に推移した。欧州時間、独DAX等の欧州株式市場やポンド円の下落を受けてドル円は110.20円台から下落を開始し110円割れ。北米時間に入っても、NASDAQ指数が一時1.5%安と全週末から続落、好調な米3年債入札を受けて米10年債利回りが低下すると、ドル円は一時、109.64円まで値を下げた。もともと、FOMCへの様子見姿勢から積極的な下値追いはならず、その後は109円台後半までやや値を戻している。本日は、FOMCの結果を見きわめたいとの思いから、動意に乏しく110円絡みで揉み合う展開を予想する。